

(7) 子育て支援施設

ア 保育園・幼児園・幼稚園

①サービス状況

保育園は、保護者が就労等により日中の保育に欠ける乳幼児の健全育成を図るため、適切な生活の場を提供し養護と教育を行う施設で、幼稚園は幼児を保育し適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とした施設であり、本市には、公立の保育園が8施設、へき地保育所が1施設、公立幼稚園が1施設の計10施設あります。

なお、市内には、私立の保育園が1施設、幼稚園が2施設あります。

へき地保育所を除く各園では、子育てしやすい環境づくりを目指し、通常保育のほか、延長保育や一時保育の充実を図り保護者の仕事と家庭の両立を支援しています。

また一部の園では、子育て家庭に対する育児支援を図るため、育児不安等についての相談指導や地域の保育資源の情報提供等を実施する子育て支援センターの機能も備えています。

②建物状況

本市の公立保育園・へき地保育所・幼稚園10園のうち、建築後30年を経過するものが5園、2,850㎡で保育園全体面積の約39%あり、そのうち俵山幼児園や通保育園等4施設においては40年以上を経過しており老朽化が著しい状態です。

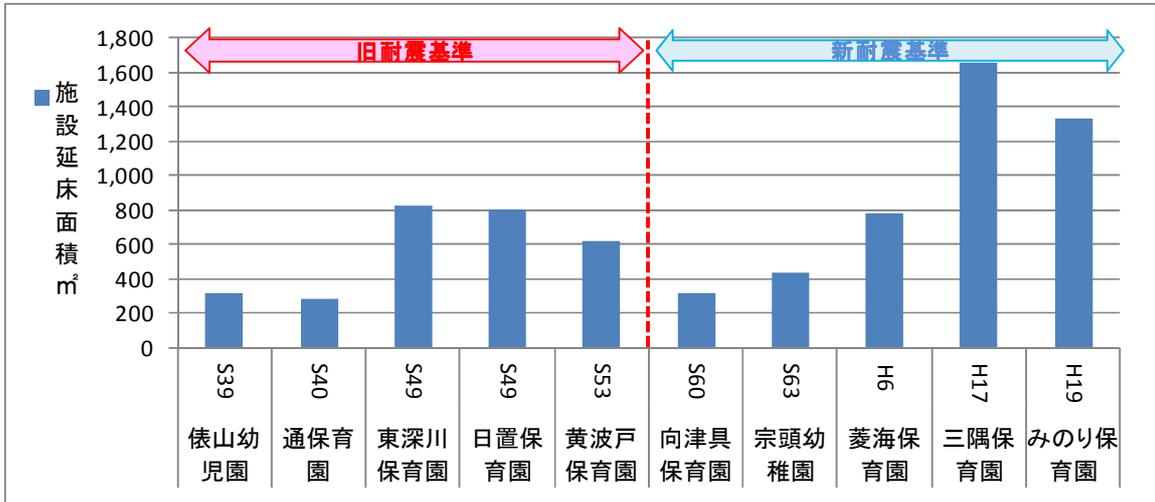
これらの施設は旧耐震基準で建てられており耐震性もなく、今後修繕・建替え等の老朽化対策が必要になります。併せて、向津具保育園と宗頭幼稚園も数年のうちに30年以上を経過することになります。

一方、みのり保育園や三隅保育園は建設後10年未満の比較的新しい建物であるため、当面は現状の機能が維持されます。

◆主な建物一覧

No	建物名	併設施設	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(㎡)	耐震化実施状況	
								耐震診断	耐震改修
1	通保育園	—	S40	W	1		288	未実施	未実施
2	東深川保育園	—	S49	RC	1		827	未実施	未実施
3	みのり保育園	—	H19	S	1		1,334	実施済み	不要
4	三隅保育園	—	H17	W	1		1,659	実施済み	不要
5	日置保育園	—	S49	S	1		800	未実施	未実施
6	黄波戸保育園	—	S53	RC	1		624	未実施	未実施
7	菱海保育園	—	H6	RC	1		785	実施済み	不要
8	向津具保育園	—	S60	RC	1		316	実施済み	不要
9	俵山幼児園	—	S39	W	1		311	未実施	未実施
10	宗頭幼稚園	—	S63	S	1		430	不要	不要
	全体						7,374		

◆築年度別の整備状況



③管理運営状況

公立保育所・幼稚園はすべて市が直営で管理運営しており、俵山幼児園については長門市社会福祉協議会に運営を委託しています。

公立保育所は、基本的に日曜と祝日、年末年始を除く平日と土曜日に開園しており、開園時間が7時と7時30分の場合があり、閉園時間については、延長保育を実施している関係で18時、18時30分、19時の場合があります。

なお、幼稚園は、開園日・時間ともに保育園とは異なります。

◆開園状況一覧

No	施設名	併設施設	開館状況			
			開館日		休館日	
			平日	土曜日	定期休館日	備考
1	宗頭幼稚園	—	8:00~15:30	—	日曜及び祝日、年末年始	—
2	通保育園	—	7:30~18:00			
3	東深川保育園	—	7:30~18:30			
4	みのり保育園	—	7:00~19:00			
5	三隅保育園	—	7:00~19:00			
6	日置保育園	—	7:30~18:30			
7	黄波戸保育園	—	7:30~18:00			
8	菱海保育園	—	7:30~19:00			
9	向津具保育園	—	7:30~18:00			
10	俵山幼児園	—	8:00~16:45			

④利用状況

本市の公立保育園の定員は735人、公立幼稚園が80人、幼児園が60人での計875人ですが、保育園・幼稚園等の入園者は、少子化の影響から年々減少傾向にあり、平成25年度の在園児数は629人で、定員に対する充足率は約72%の割合となっています。

第3章 公共施設の現状

施設別には、充足率が100%を超えるところも1施設ありますが、50%以下の保育園が4施設あります。

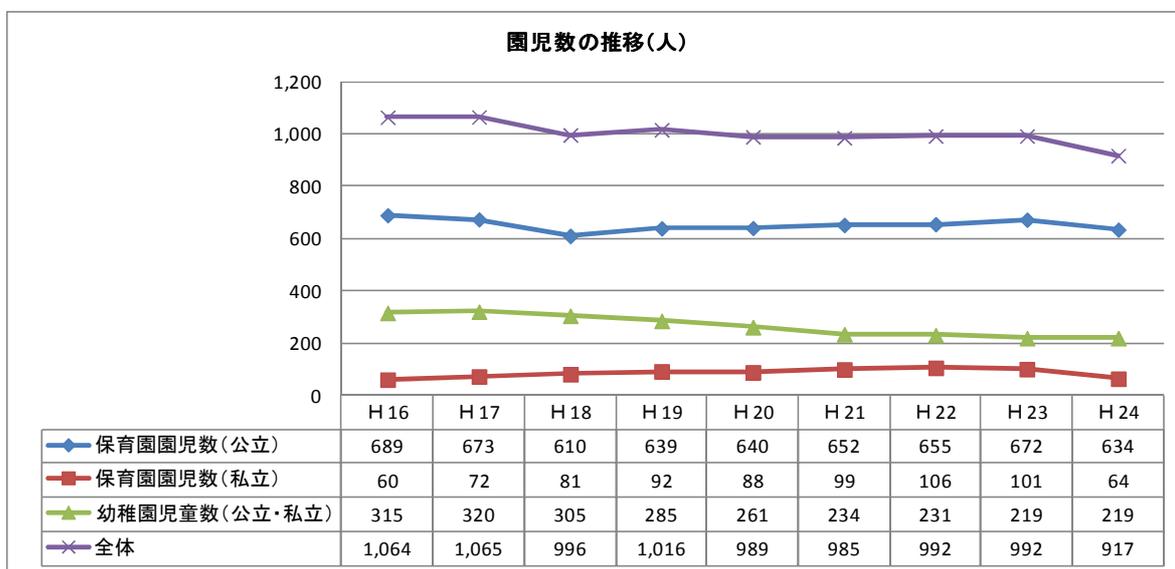
なお、保育園及び幼稚園の園児または児童数については、10年前からの推移では、全体では減少傾向にある中で、幼稚園児童数が減少し、保育園園児数が横ばいという状況がわかります。

保育園については、将来人口推計からも今後も園児数の減少が見込まれています。

◆各施設の利用状況

No	施設名	園児数(人)						充足率 (H25)
		H23		H24		H25		
		定員	園児数	定員	園児数	定員	園児数	
1	宗頭幼稚園	80	13	80	17	80	17	21%
2	通保育園	30	18	30	14	30	15	50%
3	東深川保育園	150	122	150	119	150	123	82%
4	みのり保育園	120	141	120	141	120	149	124%
5	三隅保育園	150	169	150	148	150	121	81%
6	日置保育園	120	93	120	87	120	82	68%
7	黄波戸保育園	45	22	45	22	45	20	44%
8	菱海保育園	90	94	90	84	90	73	81%
9	向津具保育園	30	24	30	19	30	19	63%
10	依山幼児園	60	12	60	6	60	10	17%
	全体	875	708	875	657	875	629	72%

◆保育園及び幼稚園園児数の推移(参考)



⑤コスト状況

公立の保育園等10園の管理運営コストは、平成23年度から平成25年度の3ヵ年平均で約3億9,500万円であり、これに対する保育料等の収入が約1億2,700万円であり、保育園の運営には多大な費用がかかることがわかります。

第3章 公共施設の現状

なお、支出を平成25年度の園児数で割り、園児1人当たりの費用に換算すると、公立幼稚園の全体の平均は627,766円/年となります。

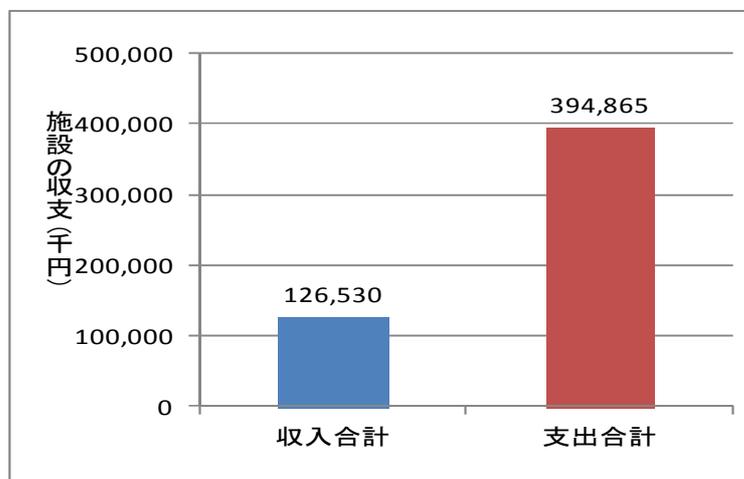
施設別に見ると、園児数の多い施設では約51万円、園児数の少ない施設で約102万円であり、園児数が多い園と少ない園では2倍の差があることとなります。

◆維持管理経費の状況

No	施設名	併設施設	維持管理経費の状況 (千円)			
			H23	H24	H25	3カ年平均
1	宗頭幼稚園	—	528	609	794	644
2	通保育園	—	1,557	1,896	2,707	2,053
3	東深川保育園	—	3,373	4,737	5,343	4,484
4	みのり保育園	—	4,555	5,960	5,784	5,433
5	三隅保育園	—	5,934	6,186	6,359	6,160
6	日置保育園	—	3,516	4,591	3,820	3,976
7	黄波戸保育園	—	1,886	2,571	2,435	2,297
8	菱海保育園	—	3,297	4,681	4,004	3,994
9	向津具保育園	—	1,391	1,271	1,784	1,482
10	俵山幼児園	—	10	10	10	10
	全体		26,047	32,512	33,040	30,533

◆保育園収支状況

No	施設名	収入(H23～H25年度平均)(千円)			支出(H23～H25年度平均)(千円)		
		使用料等	その他収入	収入合計	施設維持管理費	事業運営費	支出合計
		A	B	C=A+B	D	E	F=D+E
1	宗頭幼稚園	643	506	1,148	644	12,024	12,668
2	通保育園	2,844	304	3,148	2,053	13,181	15,234
3	東深川保育園	23,368	1,290	24,658	4,484	68,508	72,992
4	みのり保育園	28,525	1,469	29,994	5,433	70,291	75,724
5	三隅保育園	27,436	1,405	28,841	6,160	64,001	70,161
6	日置保育園	15,620	891	16,511	3,976	47,778	51,754
7	黄波戸保育園	2,971	379	3,350	2,297	13,829	16,126
8	菱海保育園	15,322	781	16,103	3,994	47,836	51,830
9	向津具保育園	2,427	350	2,777	1,482	13,697	15,179
10	俵山幼児園	0	0	0	10	13,188	13,198
	合計	119,155	7,375	126,530	30,533	364,332	394,865



⑥まとめ

保育園は、保護者が就労等により日中の保育に欠ける乳幼児の健全育成を図るため、適切な生活の場を提供し養護と教育を行う施設であり、延長保育や一時保育などさまざまなサービスを行っています。市内には公立保育園等が10か所、私立の保育園・幼稚園が3か所あります。

建物状況は、公立の保育園等10園のうち、建築後30年以上を経過したものが5園あるなど、老朽化が著しく耐震性もなく、今後修繕・建替え等の老朽化対策が必要になります。

公立保育所・幼稚園はすべて市が直営で管理運営しており、俵山幼稚園については長門市社会福祉協議会に運営を委託しています。

保育園・幼稚園等の入園者は、少子化の影響から年々減少傾向にあり、875人の定員に対し、在園児数は629人で充足率は約72%となっており、100%を超える施設もありますが、50%以下の保育園も複数あります。保育園については、将来人口推計からも今後も園児数の減少が見込まれています。

コスト状況は、保育料等収入に対して2倍以上の経費がかかっており、保育園等の運営には多大な費用がかかります。園児1人当たりでは年間約63万円の費用となり、園によっては2倍の差があります。

今後は、将来の人口減少と保育ニーズの傾向を十分に把握し、中長期的な視点で保育施設のあり方について検討していくことが課題となります。



イ 幼児・児童施設

①サービス・建物の状況

児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して、適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図ることを目的とした施設です。

本市では小学1～3年生までの児童を対象としており、深川、仙崎、三隅、日置、油谷の5か所にあり、基本的に各小学校の余裕教室を活用しており、深川児童クラブは平成24年に深川小学校敷地内に建築されています。

なお、油谷小学校の新築に併せて、油谷児童クラブの建物が建築中です。

◆建物一覧

No	建物名	併設施設	建設年度	構造	地上	地下	施設延床面積(㎡)	耐震化実施状況	
								耐震診断	耐震改修
1	深川児童クラブ	深川小学校	H24	S	1		136	実施済み	不要
2	仙崎児童クラブ(仙崎小学校校舎内)	仙崎小学校	※各学校と同じのため省略						
3	三隅児童クラブ(明倫小学校校舎内)	明倫小学校							
4	日置児童クラブ(日置小学校校舎内)	日置小学校							
5	油谷児童クラブ(油谷小学校校舎内)	油谷小学校							
	全体								

②管理運営状況

児童クラブは、すべて市の直営であり、資格を持ったスタッフ(嘱託職員及び臨時職員)が管理運営しています。また、運営日は各施設共通で、日曜・祝祭日・年末年始・盆期間を除き毎日運営しており、平日は13:00から18:00まで、土曜日・長期休暇等(夏休み等)は8:00から18:00までとなっています。

③利用及びコスト状況

児童クラブ利用状況について、登録児童数は増加傾向にあり、平成25年度時点で170人の定員に対して192人が登録しており、充足率は113%となっています。

◆児童クラブ利用状況

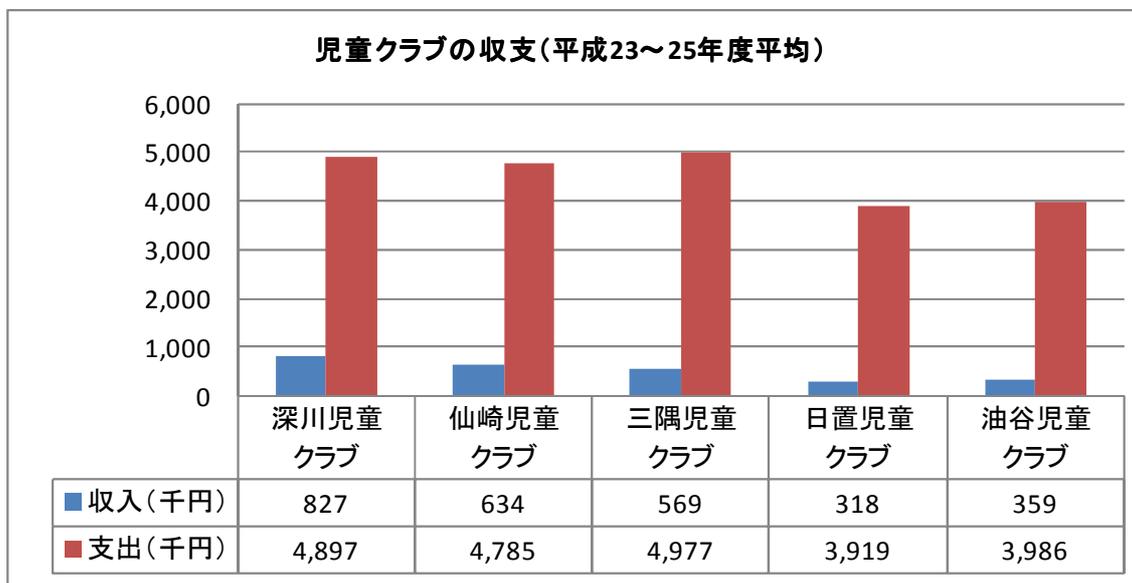
No	施設名	平均登録児童数(人)						充足率(H25)
		H23		H24		H25		
		定員	児童数	定員	児童数	定員	児童数	
1	深川児童クラブ	45	45.1	55	54.1	55	66.0	120%
2	仙崎児童クラブ	30	37.1	30	39.0	30	40.0	133%
3	三隅児童クラブ	35	37.3	35	37.9	35	39.0	111%
4	日置児童クラブ	25	16.8	25	19.8	25	23.0	92%
5	油谷児童クラブ	25	22.0	25	18.7	25	24.0	96%
	全体	160	158.3	170	169.5	170	192.0	113%

また、管理運営経費については、施設全体で平成23年度から平成25年度の平均が約2,256万円であり、これに対する収入(保護者負担金が通常月額1,500円)が約270万円

となっており、管理運営には多くの経費がかかることがわかります。

◆児童クラブの収支状況

No	施設名	収支							
		H23(円)		H24(円)		H25(円)		3年平均(千円)	
		収入	支出	収入	支出	収入	支出	収入	支出
1	深川児童クラブ	673,500	4,414,173	796,660	4,791,505	1,009,540	5,486,368	827	4,897
2	仙崎児童クラブ	606,540	4,669,244	653,420	4,790,171	643,400	4,895,713	634	4,785
3	三隅児童クラブ	581,000	4,808,013	563,960	4,963,972	563,440	5,158,620	569	4,977
4	日置児童クラブ	285,120	3,854,381	314,500	3,847,146	354,180	4,055,702	318	3,919
5	油谷児童クラブ	374,500	4,381,655	325,620	3,253,621	377,040	4,322,161	359	3,986
	全体	2,520,660	22,127,466	2,654,160	21,646,415	2,947,600	23,918,564	2,707	22,564



④まとめ

児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない児童に対して、適切な遊びや生活の場を与え、健全な育成を図ることを目的とした施設で、小学1~3年生までの児童を対象に市内5か所に設置されています。

建物は、各小学校の余裕教室を活用しており、深川児童クラブは平成24年に深川小学校敷地内に建設されています。

管理運営はすべて市の直営であり、日祝日や年末年始以外はすべて運営しています。

利用状況について、登録児童数は増加傾向にあり、平成25年度時点で170人の定員に対して192人が登録しており、充足率は113%となっています。

また、管理運営経費については、施設全体で保護者負担金収入の8倍以上の経費がかかっており、児童一人当たりで換算すると約12万円になります。

今後は、将来の人口減少やニーズの傾向を十分に勘案し、適正な管理運営等について検討を進めていく必要があると考えられます。